

平成28年 6月28日

平成27年度の主な事業報告

社会福祉法人 陽だまりの会

社会福祉事業

※1年間の事業内容を具体的に記入してください。

事業所名:ハウス陽だまり

1.事業実施日数 年間237日

2.事業内容

*自立した日常生活を地域の中で送る事が出来るよう「感謝・慎み・助け合い」の基本理念を念頭に声掛けを重視して支援を行った。

*作業プログラムを通じて生産活動の機会を提供する為、週2回の配食サービスや焼き菓子の生産及び販売を行った。授産製品の焼き菓子ではマドレーヌに加え新商品としてバウンドケーキの開発をお菓子教室の中でメンバーとともにを行い、販売を開始した。

*配食サービスでは事業所近くの店舗や連携している作業所等、配達先が増加したこと利用者の作業参加の機会の増加に繋がった。

*ニコニコハウス(区役所販売)の参加に向けロールプレイを行い、接客や会計、商品の受け渡し等の練習を行った。*利用者が主体となりレクリエーションの内容、場所等をグループミーティングで話し合い、実施した。昼食についてはメンバーが献立の案を出し、管理栄養士指導のもと、職員は栄養バランスが偏らないよう助言、調整の支援を行った。*クリスマス会では利用者が司会進行役を務めた。役割を担う事でメンバーの経験と自信に繋がるよう支援を行った。*活動プログラムではコミュニケーション能力の向上と協調性を養う為、音楽活動を継続して行った。オリジナル曲を作成し、イベントで発表する事でメンバーの達成感、充実感、やりがい等を感じることが出来るよう支援した。生活支援センターの文化祭や区作連の交流会等のイベントにバンド演奏として参加する事により、地域等の様々な人と交流する機会を提供了。

*創作活動をプログラムとして取り入れ、作詞活動を中心として刺し子やよさこい等、全員で一つのものを作り上げる機会の提供を行った。

*月に2回の革細工製作を今年も継続して行った。細かな作業が必要となるコースターや小銭入れの作成が出来るようになり、生産活動の喜びを感じることが出来るよう支援した。

*健康管理、生活の質の向上を目的として年2回のバス旅行を含め、レクリエーションを10回実施した。また地域交流の観点から、地域のバザーへ年9回参加した。

*利用者の安全管理、危機管理を目的として避難訓練、防災訓練を年2回実施した。避難訓練では広域避難場所、避難所の説明や避難経路、防災用品の確認を行い避難所である菊名小学校までの経路を周知した。防災訓練では火事や、地震の際の対処について学んだ。その後、水消火器を使用しての消火活動訓練を行った。

レクリエーション実績

○4月 1日(水)お花見(岸根公園)

○12月16日(水)クリスマス会

○4月 22日(水)ステンドグラス体験

○2月24日(水)梅見(大倉山梅園)

○7月 1日(水)バス旅行(築地)

○3月30日(水)お花見(三ツ池公園)

○8月 19日(水)ランチバイキングレク

防災訓練実績

○9月 30日(水)陶芸体験

○10月14日(水) 防災訓練・避難訓練

○10月 21日(水)芸術鑑賞(藤本遙可個展)

(ハウス陽だまり～菊名小学校)

○10月 28日(水)バス旅行(鎌倉・江ノ島)

○3月23日(水) 防災訓練・避難訓練

週間プログラム

	午前	午後
月	・ミーティング・配食サービス準備・昼食準備 ・生活支援センター清掃	・革細工(月2回)・グループミーティング ・洗濯・清掃(トイレ、灰皿)・ミーティング
火	・ミーティング・配食サービス・昼食準備 ・厨房作業(食器洗い・配膳)	・厨房清掃・音楽活動・洗濯・清掃(トイレ、灰皿) ・ミーティング
水	・ミーティング・缶ビン清掃・外周清掃・昼食準備	・お菓子教室・余暇活動(カラオケ他)・洗濯 ・清掃(トイレ、灰皿)・ミーティング
木	・ミーティング・配食サービス準備・昼食準備 ・生活支援センター清掃	・お菓子教室・余暇活動(カラオケ他)・洗濯 ・清掃(トイレ、灰皿)・ミーティング
金	・ミーティング・配食サービス・ニコニコハウス ・昼食準備・厨房作業(食器洗い・配膳)	・厨房清掃・創作活動・パソコン・洗濯 ・清掃(トイレ、灰皿)・ミーティング

事業所名:ハウス陽なた

1.事業実施日数 年間237日

2.事業内容

- *「憩いの場」「居場所」「仲間作りの場」を提供するとともに、「食」をテーマに自立と社会性、感謝・憲み・たすけあいを身につけられるよう活動を通じて支援をおこなった。
- *生活訓練として掃除や片付け、洗濯、食事の配膳や下膳等自立に向けた支援をおこなった。
- *日常生活に必要な便宜の供与として、生活全般に関する声掛けや相談支援をおこなった。通所時に体調を崩した方がいた場合には、通院同行支援をおこなった。
- *生産活動の機会の提供として、まんじゅう販売や移動売店、手芸品作り等をおこない、地域との交流や働く事の楽しさを体験し、各々の自信や経験につなげた。そして、デリバリーサービスをおこない、作業工賃アップに取り組んだ。
- *四季折々の行事やバス旅行等のレクリエーションを催し、社会との交流の促進を図った。
- *食事サービスとして、管理栄養士指導の下、栄養バランスの取れたヘルシーメニューの昼食を提供。食事中の見守りや観飲誤嚥の対策も講じた。
- *衛生面の指導として、正しい手の洗い方や消毒の励行、ノロウイルスやインフルエンザ等感染症予防の対策を講じた。
- *生産活動及び地域福祉の増進として、地域のイベントやバザーに参加し、地域や関係機関との交流やネットワーク構築につなげた。
- *随時、障がい当事者やその家族、関係機関等からの見学を受け入れ、利用や直接支援、地域福祉資源の理解促進につなげた。
- 創作的活動の充実として、地域の専門家を招き、様々な文化に触れる体験教室を実施。利用者の地域住民との交流、意欲や物事そのものを楽しむ機能の向上につなげた。
- *音楽活動プログラムの発表の場として、陽だまり演奏会を開催。演奏会には、当事者家族や関係機関の方々を招き、自主製品の販売などをおこなった。
- *株式会社R-CORPORATIONの協力のもと、近日中に第三者評価を実施予定。利用者からの意見や要望を踏まえて、支援の充実又はより望ましい水準への追求を図っていく。

レクリエーション実績

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| ○平成27年4月1日(水) 岸根公園花見レク | ○平成27年11月26日(木) 個展鑑賞レク |
| ○平成27年5月27日(水) 猫カフェレク | ○平成27年12月2日(水) かごの屋昼食レク |
| ○平成27年7月1日(水) 筑地バス旅行 | ○平成27年12月16日(水) クリスマス会 |
| ○平成27年10月21日(水) 個展鑑賞レク | ○平成28年1月20日(水) 華屋与兵衛昼食レク |
| ○平成27年10月28日(水) 江ノ島バス旅行 | ○平成28年3月10日(木) チェリーコンサート |
| | ○平成28年3月12日(土) 演奏会 |

防災訓練実績

- 平成27年7月23日(木) 避難訓練(ハウス陽なた～菊名小学校)
○平成28年3月23日(水) 防災訓練(ハウス陽だまり)

週間プログラム

	午前	午後
月	・ミーティング・まんじゅう販売・ニコニコ販売 (第2、4、6)・請負清掃・お菓子袋詰め・昼食作り	・移動売店・まんじゅう販売 ・パソコン・ミーティング
火	・ミーティング・昼食準備・室内清掃 ・まんじゅう販売	・まんじゅう販売・カラオケ ・厨房清掃・ミーティング
水	・ミーティング・昼食作り・外周清掃 ・まんじゅう販売・ニコニコ販売(第5)	・まんじゅう販売・音楽活動・パソコン ・ミーティング
木	・ミーティング・軽作業・昼食作り ・請負清掃・まんじゅう販売・ニコニコ販売(第6)	・絹み物(月2回)・水彩画(月2回) ・パソコン・まんじゅう販売・ミーティング
金	・ミーティング・室内清掃 ・まんじゅう販売・ニコニコ販売	・移動売店(第2金曜)・スポーツ活動 ・清掃・まんじゅう販売・ミーティング

事業所名:ハイム木もれ陽

基本運営 365日運営 夜間支援体制:あり 利用者定員:10人

入居定員数10名。本体 8名、サテライト 2名

【その他特記事項】

施設管理及びサービス管理責任者の携帯電話等により、利用者の緊急事態等に対応出来るよう、夜間及び深夜の時間帯の連絡体制を確保している。

【主な活動報告】

*就労を目指している利用者に対して、就労移行支援事業の利用開始を支援した。*利用者一人ひとりの希望や症状をふまえ、金銭管理や服薬管理等を実施。当初は、金銭管理に不安を覚えていた利用者1名が、自己管理が出来る様になつた。*月1回の利用者ミーティングを通じて、利用者からの意見を取り入れ、新たなルールの設定、既存ルールの再確認を実施。事前に相談があった内容を元に、利用者ミーティングでの提案等を促し、自主性・自立性・協調性を身につける支援を行つた。*新人職員の受け入れを行い、非常勤職員の業務や仕事に対する姿勢・支援方法等、指導・助言を行つた。*月1回の定例職員ミーティングを継続して行い、利用者の状態・支援内容の共有を実施。職員間で意見交換することで、他の職員の動き・業務内容・実施方法等を確認し、良い点の共有・改善策の検討を行うことが出来た。

【避難訓練】

実施日:平成27年10月25日 参加人数:11名 避難場所:菊名小学校

目的:地域防災拠点場所での訓練・必要備品・緊急時の対応方法等を確認、地域住民との関係性作り。

【活動報告】

菊名地域の地域防災訓練へ参加。あらかじめ、利用者全員の名前・年齢等を明記した名簿作成が必要だと感じた。訓練途中、利用者1名が体調不良を訴え、救護班を利用することがあった。被災時には普段接していない方々へ、利用者の状態・症状を説明できるように準備する必要があると感じた。ブルーシートを使った簡易的なテントの作り方、怪我等の応急処置方法、力がほとんど必要なジャッキを使って倒木を持ち上げる体験等、様々な体験をすることが出来た。参加した利用者からは、良い経験が出来た、色々学べてよかったですとの声があがつた。今後も、継続して参加できるように努める。

【消防訓練】

実施日:平成28年2月12日 参加人数:15名

目的:訓練を通して夜間火災発生時の行動・避難方法の仕方を習得する。
消火器の使用方法を確認する。

【活動報告】

港北消防署の協力を得て、実際の119番通報を模した通報訓練を実施。通報訓練を実施した利用者は「何を話せばよいのか不安だったが、相手の質問に答えるだけなので、落ち着いて話すことが出来た。」と感想を述べていた。通報時の連絡先等、「連絡が取れる番号(事務所番号等)」を伝える必要があると話があった為、全利用者・職員で共有することが出来た。

実施日:平成28年3月11日 参加人数:11名

目的:消防器具の正しい使い方を体験して学び、知識を深め、防災意識を高める。

【活動報告】

地震発生時の身の守り方、外出先での避難場所の確認、施設内の設備確認を実施。消火器の使用方法の説明を受け、水消火器取り扱いを体験。火事発生時に周囲に周知することや、火元箇所との距離の取り方を学んだ。

【その他の報告】

- 平成27年10月7日 赤い羽根共同街頭募金活動(大倉山駅前)
平成28年8月4日 支援ソフトを利用した請求業務開始
平成27年4月22日 害虫駆除作業(2ヶ月に一回)
平成27年12月24日 クリスマス会
平成27年12月15日 消防用設備等の点検
平成27年 随時 利用者の誕生日に合わせ誕生日会を実施

事業所名:ハイム陽気

基本運営 365日運営 夜間支援体制:ハイム陽気、ハイムあさ陽第一 あり、ハイムあさ陽第二 なし

入居定員数24名(ハイム陽気10名、ハイムあさ陽第一 8名、ハイムあさ陽第二6名) 現、入居者23名、退去者5名

【その他特記事項】

平成26年3月 佐藤和泉 精神保健福祉士国家資格取得

【具体的な支援内容】

- ①利用者の生活的自立に向けて、施設内共有部分の清掃や夕食メニュー作り、夕食買出し・夕食準備・夕食片付け・ゴミ出し等を利用者と話し合い当番制でおこなった。(ハイムあさ陽は夕食準備のみ)
- ②利用者の希望により、レクリエーション活動を行った。(ハイムあさ陽)
- ③従来の入居条件であった身元引受人や保護者がいなくとも精神科病院や援護区等と相応の継続した連携がとれるようであれば入居可能な場合があるとした。(平成27年度実績1名)
- ④ハイムあさ陽では、比較的難しいケースの利用者も受け入れており、職員の緊急対応支援技術や知識、業務への覚悟等が追いつかず、適切な支援を継続していくための課題が浮き彫りになった。

【消防訓練】(ハイムあさ陽)

実施日:平成27年9月30日 参加人数:利用者6名、職員2名 避難場所:下末吉小学校

目的:水害が起きた際の避難、対応及び消火器の使用方法の確認を行う。

【火災避難訓練】(ハイム陽気)

実施日:平成28年3月19日 参加人数:利用者9名、職員2名 避難場所:大豆戸小学校

目的:施設内にて火災が起きた際の避難、対応及び災害用品の確認を行う。

【避難訓練】(ハイムあさ陽)

実施日:平成28年3月31日 参加人数:利用者7名、職員1名 避難場所:下末吉小学校

目的:施設内にて火災が起きた際の避難、対応及び災害用品の確認を行う。

【その他の報告】

レクリエーション

平成27年12月27日 焼肉レク(ハイムあさ陽)

その他

平成27年6月16日 消防用品設備点検(ハイム陽気)

平成27年10月16日 害虫駆除施行(ハイムあさ陽)

平成27年12月16日 害虫駆除施行(ハイムあさ陽)

平成27年12月16日 消防用設備等点検(ハイムあさ陽)

平成27年12月22日 消防用設備等点検(ハイム陽気)

平成28年2月～3月 職員健康診断

事業所名:ハイム陽春

基本運営 365日運営 夜間支援体制:ハイム陽春第一 あり、ハイム陽春第二 なし

入居定員数14名 入居者1名、退去者なし

【その他特記事項】

特になし

【具体的な支援内容】

【直接支援実績】

・日中活動先へ毎日通うことが困難な利用者に対し、日中支援を通して利用者の意欲向上、体調の安定化、望ましい生活習慣の取得等を目指した支援を実施した。

・健康管理について重点的に支援をし、循環器や糖尿病医療機関の検索、受診同行、主治医との連絡調整を行った。

・入院中の利用者に対し、週1回面談を行い、退院後の生活安定や支援などについて相談援助を行った。

・直接支援の充実化のため、面談や居室整頓の個別対応が出来るよう職員配置を工夫した。

・一人暮らしの意向を示している入居者に対し、物件や準備に関する情報提供を行った。

【間接支援実績】

・利用者と共に地域のイベントに参加し、利用者が地域住民の一員としてより快適な生活が出来るような環境づくりに励んだ。

・外部研修・会議等を通じて、専門知識等を深めるとともに、精神保健福祉に関連する最新情報の収集及びネットワーク構築に努めた。

・防犯カメラを設置し、入居者が安心して生活できる環境を整えた。

・定期的に職員ミーティングを実施し、入居者の体調・生活状況・支援方法などの情報共有を行った。

・買い物などの外出に不安を訴える入居者に対して買い物動向及び助言等行った。

【避難訓練】

実施日:平成27年10月11日 参加人数:16名 避難場所:城郷中学校

目的:防災備蓄品の内容及び使用方法、保管場所を確認する。

災害時に落ち着いて行動が出来るよう、避難場所の確認及び防災意識を高める機会とする。

【防災訓練】

実施日:平成27年3月23日 参加人数:7名

目的:災害について学ぶことで、防災意識を高める。

災害時に落ち着いて行動が出来るよう疑似体験をする。

【その他の報告】

平成27年4月5日 小机城址まつり(地域参加活動) 平成27年12月24日 クリスマス会

平成27年5月13日 消防用設備等点検 平成27年12月27日 大掃除

平成27年7月24日 納涼祭(地域参加活動) 年末年始 年越しそば、おせちの提供

平成27年7月25日 納涼祭(地域参加活動) 平成28年1月13日 外食(近隣の焼肉屋さん)

平成27年6月14日 カラオケレク 平成28年1月18日 害虫防除実施

平成27年7月23日 消防査察 平成28年2月3日 節分(豆まき)

平成27年11月25日 消防用設備等点検 毎月 利用者ミーティング

該当月 誕生日の利用者へ対し誕生日会を実施

事業所名:横浜精神保健福祉事務所

基本運営 月・火・水・金・土 11:00~17:00

利用者数:23名(新規) 実績数84件 (サービス等利用計画(案)23件、モニタリング報告書61件)

【活動報告】

・事業所を開設し、必要設備を準備した。

・利用者のサービス更新手続きが遅りなく行われるよう、行政との連絡調整を行った。

・サービス提供事業所の連携が密に行われるよう、積極的に個別支援会議を開催した。

・通所先や入院中の病院へ訪問し、利用者のおかれている状況に応じたモニタリングを実施した。

・日中活動先の見学同行や、成年後見制度の説明会等、利用者のニーズに応じて社会資源の案内を実施した。

公益事業

実施していない

収益事業

実施していない